

CUBAPON 発足 20 周年の年に

稲作支援プロジェクトの第二段階へ～青年の島・米自給プロジェクト、4 年目（最終年）へ。

報告：松矢文雄・CUBAPON 事務局長

昨年 11 月 30 日より 12 月 7 日まで、現地プロジェクトチームとの取り決めによる年 2 回の稲作技術指導のために、菊田さん、君島さん、松矢の 3 人で訪問しました。

今回は、①5 月の指導訪問の後の作付け収穫等の実態把握と指導助言、②草の根無償による機械導入等の進行状況の確認、および③今年の菊田さん長期滞在に向けた打合せが主たる目的でした。（なおキューバ教育研究会による青年の島学校調査、3 月に実施したハバナの学校への報告は松矢が単独で行いました。）

出発 1 週間前に現地より『このごろ、天候は良くなって、地域のメンバーの一部では米の収穫が思うようにいっていません。一方で、農業省は、プロジェクトの実行に向けてムンドバッドと日本大使館、日本人居住区、大学との間でプロジェクト実行の視点を考えるために合意された保証の承認を行っていません。』というメールが届き、とにかく現地に行ってから詳細を聞くこととしてキューバに向かいました。（詳細は「米自給支援プロジェクト報告集 No. 4」での報告となります。3 月ごろ発行。協賛費をいただいた方にお届けしています）

11 月 30 日成田出発、トロント経由ハバナに同日着。翌 12 月 1 日、ホテル 8 時半発、国内線空港へ。ここまで順調で 11 時発青年の島行きの飛行機を待つ。ところが、午後 1 時になって電光掲示板から青年の島行きが消え、レイコツアーに連絡。結局午後 8 時半に飛行機が出ることになり、青年の島には 9 時過ぎに到着。空港にていつものように通訳の上河よし子さん、日本人会のミヤザワ・ノボルさん、コーディネーターのエステバンさん、それから ICAP 地区代表のマルレニイさんの出迎えを受け、シロ・レドンドのよし子さん宅へ。アルベルト半沢さんが昼食に子豚の丸焼きで歓迎してくれることになっていたのですが、10 時近くまで待っていてくれました。

2 日、朝 8 時半ホテル出発、青年の島大学へ。このプロジェクトに関わる教授 8 名、青年の島政府担当者 1 名、ICAP 地区代表 1 名、そして私たち 5 名で話



大学で関係者と話し合い



プロジェクト協議会の模様

5 月/平和友好訪問団の呼び掛け ～CUBAPON 発足 20 周年記念～

延期されていた第 17 回キューバ平和友好訪問団へのご参加を呼びかけます。今回は、キューバ革命の発端となったモンカダ兵営襲撃事件後捕えられたフィデルなどが収容されていたモンディーロ監獄のある青年の島を訪れます。キューバ革命の原動力となった「7・26 運動」はここで醸成されました。

現在、その青年の島（旧ピノス島）で CUBAPON は「稲作支援プロジェクト」を実施しています。

催行日：2014 年 5 月 10 日（土）～17 日（土）

内容：●諸国民友好協会、キューバ労働総同盟との会談

●医療制度視察、農場視察

●チェ・ゲバラが眠るサンタクララなど見学

●キューバの国父ホセ・マルティの住居跡など

費用：342,000 円前後

※別途、TAX・燃油代等、1 人部屋割増料等

申込：2014 年 3 月 9 日

※お問い合わせ下さい。詳細をお送りいたします。

し合いが持たれました。ここで②に関して衝撃的な報告を受けました。それは、昨年ミンセックと確約したことがストップ（反故）になったこと、キューバ政府（農務省）から許可が下りていないということでした。その原因の一つがキューバ政府の行政改革によってミンセックそのものがなくなったことにもあるようでした。そこで、現地では青年の島大学と NGO ムンドバットによって実現の可能性を探った結果、農務省ではなく高等教育省（大学の上部組織である）に申請することにし、現在外国担当部長がハバナに承認を取りに行っているとのことでした。学長始め学内組織のメンバーが大分入れ替わっていましたが、プロジェクト代表（窓口）はヘスス氏のままでしたので、支障なく継続して現地での技術指導ができることが分かりました。また、③について大学側から学生ビザの申請をするので必要な書類等の連絡をくれることになりました。



メヤ地区で視察

11 時に、メヤ地区を訪問。ここでは収穫時期を過ぎ、稲刈りが遅くなり、実が落ちたり、雨と風で穂が倒れたりして

稲作支援プロジェクト活動に協賛協力下さい。今年の 4 月から、菊田さんが現地常駐致します。（2014 年度協賛金受付中：3000 円）振込は郵便振込口座 00170-2-19591 まで。

いました。遠方に刈り取り機が動いていましたが、昨年同様島にある2台の機械の内1台しか機能しておらず、収穫量が予想を下回りそうでした。（草根の無償による機械導入が待たれます。）

昼食にヘロナに一度戻り、午後2時半ごろにフカロ地区へ。日系人コミュニティ4家族を訪問。原田さんのところでは、昨年持ち込んだ「もち米」が6月の大雨で流されてしまったとのことでした（輸送中の飛行機内で零下になったことも原因か）。湊さんは今回は植え付けできなかったとのこと、徳永さんは植え付けをしていませんでした。3家族とも希望はLP5のやや粘りのある品種（キューバ人は粘りの少ないLP7を好む）を植え付けたいと言っていました。一番奥の久保さんのところは、砂地で稲作に全く向かないので今後も牧畜野菜中心で行くとのことでした。



利用が始まったパラシオ海岸の海藻

3日はまずシロレロンド地区のアルベルトの田圃を視察。1月の田植えに向けて、耕しは終わっていました。南側に少し拡大し、有機肥料を入れたところの土が他とは違って黒褐色でした。ところが脇の用水路に水がありませんでした。この水は大きな貯水ダム湖から引いているものと思っていましたが、アルベルトの自宅のすぐ脇にある小さなダム湖からのものでした。6月の大雨で決壊し、視察の時は塞いでありました。軍隊が12月中に修理するとのことでした。アルベルトの自宅でよし子さんが加工した米菓の試作品を作ってもらったところ、なかなかいい味でした。その後、デマハグア地区のマルシアルのところへ。彼は不在でポンプの状況を知ることができませんでした。ポンプの故障と井戸の故障で植え付けはできなかったということです。



シロレロンド地区の視察

アベル・サンタマリア小学校



ヘロナに戻り、昼食の後3時からICAPの庭でプロジェクト関係者の話し合いが行われました。プロジェクトを代表してヘスス氏と各地区からの報告があり、最後に菊田さんから感想と助言がありました。プロジェクトの支援金が757CUC残っているとのこと、今回の支援金は次回（菊田さんの長期滞在の時に）合わせて渡すこととしました。

夕食は、報告会に参加した人たちとその家族で懇親を深めました。

4日、朝荷物をバスに載せ、午前中は2グループに分かれて行動しました。君島さん菊田さんたちはパラシオ海岸へ海藻を収集しに行き、その後国営の養豚場で糞を堆肥化できるか調査しました。しかし、堆肥化するには問題があることが分かりました。松矢はノボルさんとアベル・サンタマリア校で教育調査をしました。昼によし子さん宅で合流し、出発便までのんびりと過ごしました。島発夕方は定刻に出発し、ハバナに戻りました。

5日、朝9時にICAPへ。アリスア副総裁、アジア極東担当、日本担当の出迎えを受け、青年の島での報告をしました。農務省でストップしたことを気に掛けてもらいましたが、国際青年会議に出席するために、1時間ほどで会談は終了し、同じ場所にペドロ・ロス元CTC書記長が来てくれました。6年ぶりの再会で、アンゴラ大使を終え11月から年金生活に入ったとのことでした。続きは夜の懇親会でということでICAPをあとにしました。昼食の後ホテルに戻る途中で3月に調査をした小中学校へ報告に寄りました。

午後は、日本大使館と急遽農務省から会いたいという連絡が入り、松矢のみ別行動になりました（教育大学等への調査訪問報告のため）。日本大使館では青年の島での報告をし、農務省はペドロ・ロス氏の電話で会うことが設定されたようですが、プロジェクトのことは何も伝わってなく、話す必要もないとの判断で早々に切り上げたそうです。

午後6時半に是永邸で合流し、ペドロ・ロス夫妻との懇親会を持ちました。しばし旧交を温めました。（了）



是永邸にて。ICAPや旧知のペドロ・ロス元CTC書記長夫妻も

●「米自給支援プロジェクト報告 vol3」発行中

青年の島での「米自給支援プロジェクト」の報告を協賛カンパいただいた方に随時行っています。ご希望の方は「協賛カンパーロ=3,000円」をお願いします。只今、2014年度協賛カンパ呼び掛け。

●「カリブの社会主義 Part XV」（2013年版）

2012年秋、実施された訪問団の現地レポート。共産党大会後のキューバの姿を、医療現場や農場視察を通じて見聞した記録。（A4版、800円 送料込）

●CUBAPON 20周年記念の集い（予）

今年で20周年となり、記念の集いを9月に計画中です。詳細は次号で。

好評頒布中

『キューバ探訪——17年』 細谷久美子：編著

311頁、四六版 定価2100円

CUBAPON 会員：細谷久美子さんの17年間のキューバ見聞録がモンカダ兵営襲撃60年の年=2013年7月26日に上梓されました。革命とともに生きるキューバ人の決意、希望、苦悩の息使いを映し出しています。

それはまた、キューバ連帯を掲げたCUBAPONの1993年以来の活動の足跡ともなっています。

発行数300限定版です。是非、頒布に御協力下さい。